新 刊

□松沢篤郎：**群馬県タケ・ササ類植物誌** 181 pp. 2001. みやま文庫. ¥1,500（＋送料¥240）.

とかく敬遠され勝ちなタケ・ササ類について，故鈴木貞雄氏の指導を得て挑戦したものである．ササ類は見開き２頁を使って左側に同定のポイント，解説，標本採集地，右側に著者の手になる線画とそのデータのセットで49種類が示されている．タケについては栽培されているものなので，簡単な解説と写真が示されている．これを手本に，今後は各地で同様なタケ・ササ誌が作られるようになるだろう．

標本の採集地が列記されているが，その所蔵場所は記されていない，おそらく著者自身の所蔵であろうが，早いうちにしかるべき機関に収納保存されるよう配慮してほしい．このような本に引用された標本は，後続の研究者にとって唯一の頼りになるものなのだが，著者が存命中に処置しない限り，探索不能になってしまう例があまりにも多いのである．

みやま文庫は県知事を会長とし，県内の多くのトピックについてすでに162巻もの印刷物を刊行している．これらに記録された資料や文化財について，記録だけになってしまわないうちに，その保存，維持について手を打ってほしいものだ．植物名索引があるとよかった．入手については下記に連絡されたい．374-[redacted] 館林市[redacted] 松沢篤郎.

（金井弘夫）

□Rajbhandari K. R.: **Ethnobotany of Nepal** 189 pp. 2001. Ethnobotanical Society of Nepal, Tribhuvan Univ., Kirtipur, Kathmandu. $20（送料共）.

ネパール産562種類の植物について，学名，土名，記相，地域ごとの利用法が記されている，多くは著者のフィールド調査の収穫であるが，参照した文献があればそれが示されていて，巻末の文献リスト（約100件）で出典がわかるようになっている．アユルベーダの文献は利用法が概念的でわかりにくいが，本書では具体例が一々挙げられているので理解し易い．個々の薬用成分よりは，植物体を破砕した粘性物質を外用するような利用法が多いような気がする．土名としてはネパール名をはじめ13の tribe 名が区別されているが，あえてたくさん並べようとはしていないようだ．文献から拾ってふやすことには先に述べたような問題があるので，現場で確かめられたものだけを集積する方が，有用性が高いと思う．ゲンノショウコやドクダミは，薬用としては日本でのように名高いものではないらしい．

（金井弘夫）